

特定粉じん排出等作業
石綿排出等作業の概要

特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の種類	1 吹付け石綿、石綿含有保温材、石綿含有耐火被覆材又は石綿含有断熱材に係る作業 (1) 解体作業 (2) 石綿含有建築材料を掻き落とし、切断し、又は破碎すること以外の方法で除去する解体作業 (3) 石綿含有建築材料の事前除去が著しく困難な解体作業 (4) 改造又は補修の作業 2 石綿含有成形板に係る作業	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の実施の期間	自 年 月 日 至 年 月 日	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の部分における特定建築材料の種類並びにその使用箇所及び使用面積	1 吹付け石綿 (m ²) 2 石綿含有保温材 (m ²) 3 石綿含有耐火被覆材 (m ²) 4 石綿含有断熱材 (m ²) 5 石綿含有成形板 (m ²) 詳細は別紙3のとおり	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の方法	除去 ・ 囲い込み ・ 封じ込め ・ その他 ()	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の概要	耐火建築物・準耐火建築物・その他の建築物・その他の施設 延べ面積 m ² (階建)	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図及び付近の状況	別紙 のとおり	
特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要	別紙 のとおり	
掲 示 板	設置予定年月日	年 月 日
	設置場所	別紙 のとおり
特定工事（特定排出等工事）を施工する者の現場責任者の氏名及び連絡場所	電話番号	
下請負人が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	電話番号	

- 備考
- 1 解体等工事が特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）に該当する場合に作成すること。
 - 2 特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）の対象となる建築物等の配置図、付近の状況、特定粉じん排出等作業（石綿排出等作業）工程を明示した特定工事（特定排出等工事）の工程の概要については、計画している作業方法等がわかるものを添付すること（作業工程を示す日程表、図面等）。
 - 3 大阪府生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第9の2第2号の表に規定する掲示板の設置場所を示す見取図を添付すること。

大気中の石綿の濃度の測定計画

石綿排出等作業の開始前	測定実施予定年月日	年 月 日
	測定の場所	見取図のとおり
石綿排出等作業の期間中	石綿排出等作業の場所及び測定実施予定年月日	石綿排出等作業の場所 : 石綿排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 年 月 日 ~ 年 月 日 (日) ----- 年 月 日
		石綿排出等作業の場所 : 石綿排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 年 月 日 ~ 年 月 日 (日) ----- 年 月 日
		石綿排出等作業の場所 : 石綿排出等作業の実施期間 (実作業日数) : 年 月 日 ~ 年 月 日 (日) ----- 年 月 日
	測定の場所	見取図のとおり
石綿排出等作業の完了後	測定実施予定年月日	年 月 日
	測定の場所	見取図のとおり

- 備考 1 「石綿排出等作業の場所」には、当該石綿排出等作業の場所を特定するための一連の記号を付すとともに、見取図には、石綿排出等作業の場所を当該記号を使用して示すこと。
- 2 石綿排出等作業の期間中の欄で、測定の対象となる石綿排出等作業の場所が4箇所以上となるときは、記入欄を増加させること。また、2回以上測定を行わなければならない場合には、測定実施予定年月日をすべて記入すること。
- 3 大気中の石綿の濃度の測定の場所を示す見取図を添付すること。

事前調査結果の詳細票 (枚目/ 枚中)

建築物等が設置された着工年月日		年 月 日		階	部屋名称	(部屋番号)				
部位	① 設計図書 (改修時の設計図書も含む)、目視による調査				② 石綿の含有の状況の分析による調査			③ 石綿の使用の状況		資料番号
	建材名、製品名等	備考	調査の方法	石綿含有	サンプリング	石綿含有	石綿の種類 (含有率)	備考	石綿含有建材の種類 (材料レベル)	
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 (根拠資料の種類: <input type="checkbox"/> 目視 ())	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(%)		(レベル)	m ²
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 () <input type="checkbox"/> 目視 ())	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(%)		(レベル)	m ²
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 () <input type="checkbox"/> 目視 ())	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(%)		(レベル)	m ²
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 () <input type="checkbox"/> 目視 ())	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(%)		(レベル)	m ²
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 () <input type="checkbox"/> 目視 ())	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(%)		(レベル)	m ²
		改修:	<input type="checkbox"/> 設計図書等 () <input type="checkbox"/> 目視 ())	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> みなし	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(%)		(レベル)	m ²

- 1 設計図書の該当箇所、目視調査の内容、含有の状況の分析実施の際は採取箇所の図面及び分析結果など、石綿の使用・含有及び使用面積算出の根拠となる資料を添付すること。
- 2 設計図書等の根拠資料の種類を括弧内に記載すること。a 石綿含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)、b メーカーの証明書・ホームページ、c JATI 協会無石綿情報、d その他 (具体的に根拠資料を記載)、e 設計図書等無し
- 3 目視による調査についてはその内容を括弧内に記載すること。A 外観、B 商品名の印字、C JIS 番号 D その他 (具体的に内容を記載)
- 4 備考欄には改修の着工の履歴など当該部位に係るその他情報を記載すること。
- 5 別紙3は必要に応じて複写し、階、部屋ごとに作成すること。